

# 家庭教育支援推進事業

(前年度予算額 12百万円)

30年度予定額 13百万円

全ての保護者が安心して子供を産み育てられる社会の実現に向け、妊娠期から学齢期まで切れ目なく支援するために、最新の家庭教育支援の在り方に関する検討や実地調査等を行い、その成果を人材養成や家庭教育支援活動の多様化に活用することで、循環型の家庭教育支援の仕組みを構築する。

あわせて、「早寝早起き朝ごはん」国民運動等を含めた生活習慣づくりにおいて、子供は大人のライフスタイルの影響を受けやすく、子供の生活習慣づくりに対する保護者の意識醸成も重要であるため、①子供の生活習慣に影響を与える家庭環境、社会・経済的環境（企業活動）に関するエビデンスの収集・分類や、②企業や働く保護者への普及啓発方法などについて検討する。

※平成29年度の「子供の生活習慣づくり支援事業」を「家庭教育支援推進事業」に統合する。

## 家庭教育支援のための検討委員会の開催



子供の就学や養育に不安を抱える保護者



妊娠期から学齢期までの切れ目のない支援を行うための体制整備が必要



実地調査等を行いながら、有識者による検討委員会において、教育と福祉の連携も含めた具体的な方策を検討

- ◆ 保護者のニーズをワンストップで受け止め、教育と福祉の一体的な支援を実現するための人材の確保・養成の在り方
- ◆ 福祉関係機関と家庭教育支援チーム等の連携を進めるための事業運営の在り方（ケース会議等の運用など）等

※「教育と福祉の連携による家庭教育支援事業（訪問型家庭教育支援等）」のうちの子育て支援と家庭教育支援の連携について、進捗等の報告を受け指導・助言を行う。

## 生活習慣づくりの推進に関する調査研究の実施

- ・ 子供は保護者のライフスタイルの影響を受けやすく、生活習慣づくりに関する保護者の意識醸成等も重要



- ・ 一方、保護者の生活習慣は、職業活動・企業活動の影響が大きい



子供の生活習慣と企業活動を含めた大人の生活習慣等との関係について調査を実施

- ◆ 家庭環境や社会・経済的環境（企業活動）の子供の生活習慣への影響に関するエビデンスの収集・分類
- ◆ 生活習慣づくりの普及啓発方法について検討

人材養成・支援活動の多様化

普及啓発・全国展開

## 今後の家庭教育支援の中核となる人材養成のための研究協議会の開催

- ◆ 家庭教育支援チームの活動、子育て支援・家庭教育支援との連携及び生活習慣づくりに係る優良事例の紹介や効果的な連携方策の共有
- ◆ 家庭教育支援チーム、家庭教育支援員及び子育て支援関係者、子育て支援と家庭教育支援をつなぐ人材等の研修・交流の場を設定

